

東方色操館

小鳥遊やよい

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

幻想郷に突如現れた謎の巨大な建物。

魔理沙はその周りで青い桜の花びらを拾う。

消えた妖精たち、謎の霧、静かな湖…

霊夢たちはこの異変を解決できるのか——！

始まり

目次

1

始まり

これはある春のこと。

魔「あれ、あんなところに建物なんかあったか？まあいい、行ってみるか」

幻想郷に突如現れた謎の巨大な建物。

レ「フライン、どこにいるのー？」

咲「妹様ー？どこにいらっしやるのですかー？

・・・今日はやけに静かですね」

レ「妖精の1つ2つ、飛んでいてもおかしくないのに」

消えたフラインと妖精たち。

霊「何この霧……。紅い……。こともないわね」

謎の霧。

魔 「うわっ、なんだこれ、桜が青色だっ！」

色合いのおかしい桜。

??? 「○○○お姉さま？ティーパーティーでもしませんこと？」

??? 「あたい、あっちーのは飲めね！」

??? 「分かった分かった、○○○ちゃんには他の飲み物用意しておくわ」

??? 「楽しそうだねー」

??? 「あー、○○○ちゃん、つまみ食いしちゃダメだよー…」

ここは色操館（しきそうかん）。今日も一人の少女と妖精たちは仲良く遊んでいる。

魔 「というわけで！これは異変なんだ！」

青い桜の花びらを霊夢に見せて説得する魔理沙。

咲「失礼いたします」

霊「メイドと吸血鬼が何の用？」

レ「… フランが帰ってこないの」

咲「昨日の夜、遊びに出掛けてから帰ってこないのです」

レ「湖も静かなの。——不気味なほどにね」

魔「それも気になるな」

霊「えー、せっかくの春よ？春は短いのにそんなこと（異変解決）してたら

春が終わっちゃうわ」

魔「霊夢？」

レ「これは異変なのよ?!青い桜の花びら、帰ってこないフラン、謎の霧、

突如現れた謎の巨大な建物、静かな湖!」

霊「まあそうねえ… ちゃっちやと終わらせて宴会でも開きましょ。

あ、お花見がいい?」

??? 「○○○○お姉さま」

??? 「なあに、○○○○」

??? 「だーいすき!」

??? 「あ!あたいの○○○○ちゃんだぞ!」

??? 「そーなのかー」

??? 「○○○○ちゃん!みんなの○○○○お姉ちゃんだよ!」

??? 「○○○○お姉さまが危ない目に遭わないように、私たちが守って

あげるわ」

??? 「そーだそーだ！」

今日も色操館は平和だった。
色操館の中だけは…

魔 「この辺、だったんだけどな…。」

霊 「魔理沙、危ないっ！」

魔 「え、うわっ、ちよっ！なんだ！この妖精の数！」

??? 「レミリアお姉さま、咲夜… 来ちゃったのね」

レ 「フラン！なんで帰ってこないの?!心配したんだから…！」

フ「やだ！私はずーっとさつきお姉さまといろの！」

??? 「おいおまえたち！ここに何しに来たんだ！」

霊「何、って… 異変解決だけど」

チ「さつきちゃんはあたいたちで守るっ！おまえたち！冷凍保存してやる！」

??? 「チルノちゃん…」

チ「大ちゃん、だいじょーぶだよ！あたいたちでさつきちゃん、守る？」

ル「そーなのかー」

チ「さあ！かかってこいやー！」